

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2011年 9月 30日

| | |
|-------------|--------------|
| 派遣者氏名（専門分野） | 土谷真理子（ドイツ文学） |
|-------------|--------------|

| | |
|------|-----------------------|
| 派遣期間 | 2011年6月14日～2011年8月15日 |
|------|-----------------------|

派遣研究機関

| 国 | 都市 | 訪問機関 |
|-----|-------|---|
| ドイツ | ヴァイマル | 「アナ・アマーリア太后妃図書館 Herzogin Anna-Amalia Bibliothek」研究センター 「ゲーテ・シラー文書館 Goethe-Schiller Archiv」 |

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

「ヴァイマル古典財団 Klassik Stiftung Weimar」管轄の「アナ・アマーリア太后妃図書館 Herzogin Anna-Amalia Bibliothek」の「研究センター Studienzentrum」および「ゲーテ・シラー文書館 Goethe-Schiller Archiv」の利用の手順を以下に示す。（なお、別添資料2枚あり。）

渡航前の手順

- ・ヴァイマル古典財団のサイト (<http://www.klassik-stiftung.de/>) 内の「研究 Forschung」のページ下の「コンタクト Kontakt」に、財団管轄の各施設別の秘書課スタッフ全員の連絡先が記載されている。まずはこの図書館および文書館秘書課スタッフへメールで利用の可否の問い合わせをした。
（※私の場合、前年にハイデルベルク大学で知り合ったフィッシャー教授が文書館長だったので、その教授に口添えをして頂いたおかげで、スムーズに事が運んだ。しかし、ヴァイマルは外国人研究者による滞在・利用が多いため、こちらが研究者だと名乗りさえすれば、基本的にスタッフは皆親切である。）
- ・秘書課スタッフからメールで利用許可が下りると、図書館や文書館の蔵書検索のページのURLを教えてもらえる。これにより各自で、利用できる資料をあらかじめ検索できる。

渡航後の手順

- ・図書館の「利用申し込み窓口 Anmeldung」で秘書課スタッフとのやりとりメールのコピーを見せ、申込みフォームに記入し、宿泊先の住所、パスポート（現物）と図書館・文書館登録料（9ユーロ）を渡す。
- ・「TOSKA」という磁気カードを渡される。これを図書館への入り口やエレベータに毎回かざして、図書館を利用、書籍を帯出することになる。
（※このカード所有者は、バウハウス建築大学やイエナ大学の図書館も同様に利用することができる。）
カードの利用期限は一年だが、期限が切れてからも再度登録さえすれば利用再開できるとのこと。（無料）
- ・図書館は基本的に開架型、文書館は完全予約制（資料を読むための席まで指定される）。
- ・どちらの施設も荷物類の持ち込みは一切禁止で、入館前にロッカーに預ける。ただし、図書館窓口で販売されている透明の袋にノートパソコンや文房具、貴重品を入れての入館はOK。
- ・図書館内にはパソコンが何十台も置いてある。カード発行時に渡されたパスワードを入力すれば、インターネットも自由に利用できる。（ただし、プリントアウトやノートパソコンをネットに繋げることは不可。）
- ・19世紀以前の資料および貴重本に指定されている文書類は図書館内の特定の部屋「Lesesaal, Sonderlesesaal」でのみ閲覧可能であったため、おもにそこにおいて文献の講読と研究を進めた。
- ・書庫の本や貴重本はオンライン上で注文でき、翌日以降に書庫窓口で引き取り・閲覧が可能である。また、帯出期限の延長もオンライン上でできる。しかも、帯出冊数に上限なし。
- ・館内飲食禁止だが、研究センターには温かい食事もできるカフェが併設されているので便利。